

普及活動情勢報告（平成28年6月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

くつろぎの農家レストラン始動 ～農業創造セミナーの受講を経て開業～



めでたく！開業しました！

5月29日、高知市土佐山菖蒲地区の3人の農家女性が「いっちな木」という農家レストランを開業しました。平成25年度農業創造セミナー（農業分野での地域活性化や6次産業化への取り組みを支援）入門コース、27年度実践コースの受講で農家レストラン開業の計画を立て、原価計算を学び、実技のアドバイスを受けて、不定期営業ではありますが、開業にこぎ着けました。

普及所は、単価設定や、メニュー構成、店舗のしつらえ、くつろぎの空間・時間の提供などの提案しながら共に準備を進めてきました。今後も安定経営に向けた活動をバックアップしていきます。

天敵昆虫を使って病虫害被害を抑えよう！ ～トマト部会勉強会～



熱心な意見交換の場

6月7日、JA高知春野トマト部会の勉強会の中で、普及所から天敵昆虫の利用方法と産地パワーアップ事業について説明しました。天敵昆虫の利用方法では、タバコカスミカメをトマトで使う際の注意点や、放飼試験の結果を説明し、天敵昆虫と農薬を上手に使うことで害虫の発生を抑える技術を伝えました。

生産者からは、「天敵昆虫を使う人がもっと増えてほしい」等の意見や、トマトサビダニの防除方法の質問がありました。

普及所では今後も勉強会や現地検討会を通して、天敵昆虫の効果と利用方法について普及していきます。

グロリオサの品質を高めよう！ ～ミカンキイロアザミウマ対策の勉強会を開催～



ハウス内の温度を体感中

6月9日、JA高知市三里園芸部花卉部会が、ミカンキイロアザミウマ対策の勉強会を開催しました。普及所からはこの害虫の生態を生かした効率的な防除方法を説明しました。また、対策として防虫ネットを導入した実証ハウスで温度等を体感してもらいました。

生産者からは、夏場に害虫を蒸し込む方法やグロリオサに最適な防虫ネットの種類等多くの質問がありました。

8月には、夏場の高温対策と害虫防除として遮熱資材と防虫ネットを併用したハウスで現地検討会を開催し、その技術の普及に向けて支援を続けていきます。

若い人にも土佐の伝統野菜を ～高知農業高校で授業をしました！～



ほ場での植え付けの指導

6月9日、高知農業高校で生活総合科の3年生に、伝統野菜の授業を行いました。伝統野菜の復活を目指し、普及所と『Team Makino』の取り組みを紹介した後、伝統野菜であるハッシュウマメとラッカセイの植え付け指導を行いました。生徒からは「伝統野菜の種の保管はどうするの？」等の熱心な質問が出されました。その後、同高校の新聞部の取材を受け、「牧野野菜」と呼ぶようになった由来等を説明しました。

引き続き、普及所は高知農業高校での伝統野菜の栽培の取り組みを支援していきます。

穂肥はいつやろう？ ～高知市春野で現地検討会～



出穂予測の説明中

6月9日、JA高知春野管内の水稻生産者を対象に穂肥の現地検討会を2カ所で開催しました。生育状況に応じて適期に穂肥を施用したいという生産者を中心に29名が集まりました。普及所からは、気象や水稻の生育状況、病虫害の発生状況、今後の管理について説明しました。

出席者からはスクミリンゴガイの防除方法や草色に応じた穂肥量・施用時期についての質問が多く出され、関心の高さが伺えました。また、幼穂長を見て出穂予測を行い、実際の今年の生育進度を確認してもらいました。

今後も、適期の病虫害防除や早期落水防止による登熟向上、適期の刈り取り等を指導していきます。

互いの経営を知って、資質向上！ ～農村女性リーダーお宅訪問～



説明を受ける女性リーダー達

6月17日、高知市春野町において高知地区農村女性リーダー協議会が、会員相互の農業経営を知るための「お宅訪問」を行いました。14名が参加し、まずはJA高知春野で新ショウガの洗浄作業場を見学した後、パプリカ・新ショウガのハウスを視察。最後に、6次産業化に取り組む飲食店「野菜がタルト」で、開業までの経緯や現在の課題について説明を聞きました。

参加者からは、日頃馴染みの薄い作物の出荷作業やほ場、新たな取り組みに挑戦する仲間の姿を見聞きし、非常に刺激になったと好評でした。

普及所では8月にも地域外の視察研修を企画しており、今後ますます女性リーダーの資質向上へ支援していきます。